

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報（2024年7月）

### 【内政】

- 11日及び12日、2024年第1回県知事会議が開催され、セイドゥ内務・公共安全大臣、アコテニョン地方分権・地方行政大臣、及び各県知事12名の出席の下、地方分権政策の進捗評価に係る協議が実施された。（12日、La Nation 紙他）
- 22日、ベナン政府は大統領府にて、第7期高等視聴覚通信局（H A A C）新任理事9名（任期5年）の就任式を実施。（23日、各紙）

### 【外政】

- 1日、チアニ CNSP 議長らと会談を終え帰国したソグロ元大統領及びヤイ前大統領は、タロン大統領と面会。（2日、各紙）
- 5日、ワダニ財務・経済大臣が訪日し、辻清人外務副大臣と会談を実施。8月に開催予定の T I C A D 9 閣僚会合に言及しつつ、二国間開発協力に関し協議。（10日、Le Matinal 紙他）

### 【治安】

- 24日深夜から25日未明にかけて、アリボリ県（ALIBORI）のW国立公園で、テロリストによる攻撃を受け、12名の治安当局関係者が殺害された。（29日、Le Matinal 紙）

### 【経済】

- 国立統計・人口学研究所（INStaD）の報告によれば、2008年の企業数154,839社に対し、2023年には252,155社まで増加。（1日、La Nation 紙他）
- 6月28日、国際通貨基金（IMF）は4条協議を実施し、6,700万ドルの追加融資を発表。（2日、L' Economiste 紙他）

### 【文化・その他】

- 6月29日、ベナン帰国研修員同窓会（2 A 2 B J）は、1月24日にウイダ市で開始した内水面養殖研修の活動視察を実施。（9日、Le Matinal 紙）
- 27日、リトラル県・アトランティック県空手連盟は、夏季空手組手大会2024を開催し、59名の選手が参加。（29日、各紙）

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、L' Economiste 紙及び Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

## 【内政】

- ・ 11日、ウンベジ政府報道官は、トラオレ・ブルキナファソ暫定大統領によるベナンに仏軍が駐留するとの指摘に対し、即座に否定。（12日、Le Matinal 紙）
- ・ 11日及び12日、第1回県知事会議が開催され、セイドゥ内務・公共安全大臣、アコテニョン地方分権・地方行政大臣、及び県知事12名が出席の下、地方分権政策の進捗に係る協議が実施。（12日、La Nation 紙及び15日、L' Economiste 紙）
- ・ 22日、大統領府にて、第7期高等視聴覚通信局（H A A C）新規理事（任期5年）の就任式が実施。（23日、各紙）

## 【外政】

- ・ 1日、チアニ・ニジェール祖国救済国家評議会（C N S P）議長らと会談を終え帰国したソグロ元大統領及びヤイ前大統領は、大統領府でタロン大統領と面会。（2日、各紙）
- ・ 5日、ワダニ財務・経済大臣が訪日し、辻清人外務副大臣と会談。同会談では、8月に開催予定のT I C A D 9閣僚会合や、インフラ、産業促進、保健及び安全保障分野等における二国間開発協力につき協議。（10日、Le Matinal 紙及びL' Economiste 紙）
- ・ 10日、アジャディ・バカリ外務大臣はアンゴラを訪問し、ルレンソ・アンゴラ大統領と二国間関係強化につき会談。（10日、Le Matinal 紙及びLe Matin Libre 紙）
- ・ 19日、ブルネ・駐仏ベナン大使は、違法漁業禁止協定に対する受諾文書をオコンジョW T O事務局長に提出。同協定の加盟国はアフリカ15か国を含む80か国となった。（22日、La Nation 紙及びL' Economiste 紙）
- ・ 22日、アジャディ・バカリ外務大臣は、ダカールを訪問し、タロン大統領の親書をファイ・セネガル大統領に手交の上、会談。（23日、La Nation 紙及びLe Matinal 紙）
- ・ 24日、チアニ・ニジェールC N S P議長の名を受けた同国使節団が、二国間関係正常化を目的の下、タロン大統領と面会。（25日、Le Matinal 紙及びLe Matin Libre 紙）
- ・ 25日、大統領府において、日本をはじめとする8か国の新任大使は、タロン大統領に信任状を捧呈の上、会談。（26日、各紙）

## 【治安】

- ・ 6月29日、アタコラ県（ATACORA）ナチテングー市で、9歳の少女殺害の疑いをかけられた3名が民衆制裁を受け死亡。（2日、Le Matin Libre 紙）
- ・ 16日深夜から17日未明にかけ、共和国警察は、ドンガ県（DONGA）バシラ市プレケテ地区で、不正輸出の容疑で84トンのカシューナッツを押収。（3日、Le Matinal 紙及びL' Economiste 紙）
- ・ 3日、政府は、2024～2025年の空軍訓練コースを対象とする空軍将校及び下士官50名の採用を閣議決定。（4日、Le Matinal 紙）
- ・ 12日、コトヌ第5地区共和国警察は、同地区のスラム街で治安対策オペレーションを実施し、向精神剤の所持容疑で10名を逮捕。（17日、Le Matinal 紙）

- ・ 24日深夜から25日未明にかけて、治安部隊がアリボリ県（ALIBORI）のW国立公園で、「イスラムとムスリムの支援団（JNIM）」のテロリストによる攻撃を受け、12名が殺害された。（29日、Le Matinal 紙）

#### 【経済】

- ・ 国立統計・人口学研究所（INStad）の報告によれば、2008年の企業数154,839社に対し、2023年には252,155社まで増加。（1日、La Nation 紙及びLe Matinal 紙）
- ・ 6月28日、ベナン政府と国際通貨基金（IMF）の4条協議が実施され、6,700万ドルの追加融資が発表。（2日、L' Economiste 紙及び3日、Le Matinal 紙）
- ・ 国立統計・人口学研究所（INStad）は、四半期1期目の経済成長率が6.3%であった旨発表。（5日、La Nation 紙）
- ・ 16日、IMF及び世銀の主催により、気候変動対策の財政支援に関する国際円卓会議が開催された。ベナン政府代表のワダニ財務・経済大臣及びトナト生活環境・運輸・持続的開発担当大臣をはじめ、国際金融・開発援助機関、民間セクター及び市民社会団体が同会合に出席。（19日、L' Economiste 紙及び3日、Le Matinal 紙）

#### 【文化・その他】

- ・ 6月29日、ベナン帰国研修員同窓会（2A2BJ）は、1月24日にウイダ市で開始された内水面養殖研修の活動を視察。（9日、Le Matinal 紙）
- ・ 6日から12日にセネガルで開催された武術太極拳ジュニア・アフリカ大会において、ベナン代表は12個のメダル（金：1、銀：6、銅：4）を獲得。（16日、La Nation 紙）
- ・ 19日から22日、中小企業・雇用促進省及びベナン工芸会議所は、22日のベナン伝統工芸職人の日を祝う式典を開催。（22日、各紙）
- ・ 27日、リトラル県・アトランティック県空手連盟は、2024年夏季空手・組手大会を開催し、59名の選手が参加。同連盟は8月15日に空手形の大会を開催する旨発表。（29日、各紙）